

令和 5 年度 施策評価表

第 3 章 健幸(けんこう)長寿のまち

まちづくりの目標	市民一人ひとりが、それぞれのおかれている状態の中で、心身の健康を実感しながら、地域の中で安心していきいきと暮らせるまちをめざします。
分野別計画・指針	第2次所沢市保健医療計画、所沢市新型インフルエンザ等対策行動計画、所沢市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)、『生きる』を支える所沢市行動計画～気づき、寄り添い、支え合う所沢をめざして～、第三次所沢市市民医療センター改革プラン、第2次所沢市スポーツ推進計画

第1節	健康づくり
関係所属	健康づくり支援課

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和4年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,571人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「健康づくり」 所沢市は市民が健康づくりに取り組むための支援や環境が充実している	840	32.7%	448	17.4%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
	健康寿命の順位	位	5(男性) 12(女性)	2	12 15	× ×	1 1

事業目標の達成状況								
基本方針	事業目標	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値	
3-1-1	主体的な健康づくりの推進	健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数	歩	7,179	8,000	7,201	×	8,000
3-1-2	母子保健事業の充実	乳幼児健康診査受診率	%	94.3	98.0	96.4	×	99.0
3-1-3	食育の推進	食育に関する料理教室や講習会の開催回数	回	16	17	16	×	18
3-1-4	歯科口腔の健康保持・増進	むし歯のない3歳児の割合	%	87.3	87.8	93.8	○	88.0

節の基本方針への取り組み状況							
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○トコトコ健幸マイレージ事業は、埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ事業」を活用し、本市独自のポイント・景品を設定することで、より魅力ある事業となるよう努めた。参加者の募集にあたっては、公共施設等でのチラシ配布や広報への掲載、保健師の地区活動などを通じて周知を行った。また、埼玉県が民間団体とコラボレーションして実施したウォーキングイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク2022」との連携や、本市で11月に開催された「トコトコウォーク2022」を市独自ポイント対象事業とした事に加え、12月に「ウォーキング促進強化月間」の取組を実施した。(健幸マイレージ事業目標参加人数:12,000人、R5.3月末参加者数:13,798人)</p> <p>○乳幼児健康診査(3歳児健康診査)は、7月から視覚屈折検査機器を導入し、視力検査(自覚的検査)と屈折検査(他覚的検査)を併用することで、視覚異常検出精度の向上を図った。</p> <p>○食育に関する事業は、新型コロナウイルス感染症対策を見直し、可能な事業について調理実習を実施した。</p>							
<p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数は、コロナ禍による外出自粛の影響等もあり目標達成とはならなかったが、ウォーキング促進強化月間の取り組みなどにより、前年度(7,029歩)よりも増加した。</p> <p>○乳幼児健康診査受診率は、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安心して受診できるように努めたため、目標値には到達しなかったが、前年度より向上した。</p> <p>○食育に関する事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の一部を中止したため、事業目標が未達成となった。</p>							

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

○新しい生活様式に即した地域での交流の機会を再開し、生活不安や育児不安等によるストレス、児童虐待等を未然に予防していくことが重要である。妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図る。

○地域全体で食育推進を行う取組を実施していく。

○健康づくりに向けた行動ができる市民を増やすため、糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病予防に関する保健事業や健康に関心の低い層を含む幅広い層へのアプローチを充実させていく。

◆前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

○健幸(健康)マイレージ事業の参加者の1日平均歩数については、各課が実施するイベントに市独自ポイントを付与し、出歩きの促進により、平均歩数のさらなる増加に取り組んでいく。

○乳幼児健康診査受診率については、受診率向上につながるよう周知していくとともに、引き続き未受診者への受診勧奨を実施していく。

○食育に関する事業は、新しい生活様式を踏まえ実施していく。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	レ	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう		

評価日	R5.6.28	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 中村 まさみ
-----	---------	--------	---------------------

第2節	早期発見・疾病予防	
関係所属	健康管理課、健康づくり支援課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和4年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,571人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「早期発見・疾病予防」 所沢市は検診や予防接種など、病気を発見・予防する取組が充実している	1121	43.6%	472	18.4%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
	大腸がん検診の受診率	%	7.9	8.4	8.1	×	8.6

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-2-1	予防接種・感染症の情報提供	二種混合予防接種の接種率	%	77	82	69	×	84
3-2-2	生活習慣病予防の普及啓発	予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数	人	174	195	143	×	200
3-2-3	がん検診の普及啓発	がん検診の受診者数	人	40,170	45,000	39,829	×	47,000
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	こころの健康講座等の参加者数	人	3,246	3,350	3,099	×	3,400
3-2-4	精神疾患対策と自殺防止対策	思春期こころの健康相談の相談者数	人	28	31	31	○	32

節の基本方針への取り組み状況	
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報ところざわ3月号でがん検診の特集記事を掲載し、がん検診の定期・継続受診の重要性の周知啓発を図った。 ○新型コロナワクチン接種は、集団接種及び個別接種で進め、3月末までに高齢者の77.0%がオミクロン株対応ワクチンの接種を終了した。 ○思春期こころの健康相談については市内外の高校に周知を行い、支援が必要な高校生に対して適切な支援をできるよう努めた。 ○HPVワクチンの積極的勧奨が再開され、中学1年生から中学3年生の女子に6月に予診票を送付した。また、キャッチアップ接種の対象者(平成9年度から平成17年度生まれの女子)に、既に任意接種した場合の、接種費用の助成の案内と予診票を送付した。 ○予約制健康相談は、感染防止対策を講じて実施した。また、新たにほっとメールを活用し事業の周知を行った。 <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん検診は、個別医療機関の受診者数は横ばいまたは微増であったが、集団検診の受診者数が伸びなかった。 ○二種混合予防接種については、夏の時期の接種者が例年よりも少なかった。 ○こころの健康講座は実施回数を増やしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため受講者の定員を小規模としたため受講者数が伸びなかった。 ○予約制健康相談については、前年度より増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響も少なからずあり、目標値には届かなかった。 	

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 引き続きがん検診の定期・継続受診の重要性の周知啓発を図るとともに、がん検診を受けやすい環境の整備に努める。
- HPVワクチンの9価ワクチンが定期接種の対象になったため、対象者へ広報やホームページで周知を行い、接種率の向上に努める。
- 予約制健康相談は、必要な方に情報が届くよう事業の周知に努める。

◆前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

- がん検診未受診率の高い層である国保加入者への積極的な勧奨活動により受診率の向上を図る。
- 二種混合予防接種未接種の対象者へ勧奨を行い、接種率の向上を図る。
- 予約制健康相談については、適切な相談対応に努め、必要とする多くの方に活用していただけるよう周知を工夫する。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	レ	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	レ	11 住み続けられるまちづくりを
レ 3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
レ 5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう		

評価日	R5.6.28	記入者職氏名	健康推進部保健センター長 中村 まさみ
-----	---------	--------	---------------------

第3節	地域医療							
関係所属	保健医療課、市民医療センター							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和4年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,571人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「地域医療」 体調を崩したときに身近に受診できる医療機関がある			1,349	52.5%	713	27.7%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
	所沢地区病院群輪番制病院の実施		%	実施	現状維持	実施	○	現状維持
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-3-1	救急医療の充実	在宅当番医制の実施状況	-	実施	現状維持	実施	○	現状維持
3-3-2	地域医療の充実	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者の診療実績	人	821	850	661	×	850
3-3-3	市民医療センターの運営	地域包括ケア病床の利用率	%	-	85	67	×	90
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢地区病院群輪番制事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中、各参加医療機関の感染症対策の徹底により、年度を通じて継続的に事業が実施できた。</p> <p>○在宅当番医制事業は、所沢市医師会との連携及び感染症対策の徹底により、祝休日及び年末年始の初期救急体制を確保し、円滑に実施した。また、歯科診療所あおぞらの休日緊急歯科診療についても、感染症対策を徹底し継続的に実施した。</p> <p>○令和2年度から実施している発熱外来において検査や発熱者・濃厚接触者への診療体制の強化に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたアフターコロナ患者の入院を受け入れ、中和抗体薬(点滴)の投与、経口薬の処方を実施した。一方で、新型コロナウイルス感染症第7波、第8波の感染拡大期においても、感染防止策を講じつつ通常の診療体制も維持し、市民が安心して受診できるよう安定的な医療の提供に努めた。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○歯科診療所あおぞらにの障害児者の診療については、通所施設における新型コロナウイルスの蔓延などにより、利用者が受診できなかったこと、また、感染症対策として、消毒の徹底及び患者間の接触を減らすために、診療間隔を従来より長く取っていることから受診者数が伸びず、目標値に達しなかった。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたアフターコロナ患者の受け入れのため一部の病床利用を制限していたことや、感染拡大期においてはコロナ対応及び診療を優先とした体制を取っていたこと、また、地域包括ケア病床での療養が適する病状が安定した患者が少ない時期があったことなどが理由と考えている。</p>								

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

○救急医療、地域医療を安定的に提供するため、今後も県や保健所、所沢市医師会と連携し、所沢地区病院群輪番制事業や在宅当番医制事業等の維持に努めていく。

○歯科診療所あおぞらについては、利用者アンケートや関係団体のご意見を参考にしながら、一般の歯科診療所での診療が困難な在宅介護高齢者及び障害児者の市民、並びに休日において緊急に歯科診療を必要とする者に対する歯科診療の充実に努める。

◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

○歯科診療所あおぞらにおける障害児者の市民に対する歯科診療については、所沢市歯科医師会と協力し、パンフレットやHPにより情報発信に努めていく。また、引き続き必要な感染防止対策を講じながら、より多くの利用者を受け入れることができる診療体制を整える。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R5.7.13	記入者職氏名	健康推進部次長 大出 久美 市民医療センター事務部総務課長 粕谷 憲之
-----	---------	--------	--

第4節	医療保険・医療情報	
関係所属	国民健康保険課	

施策に対する市民満足度・要望度 (「令和4年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,571人	満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度
「医療保険・医療情報」 所沢市から医療に関して必要な保険サービスが提供されている	855	33.3%	504	19.6%

評価指標の達成状況	指標名	単位	(H28)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
	特定健康診査の受診率	%	39	58	37.7 (R3)	×	60

事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-4-1	保険給付の適正化	第三者行為求償件数	件	45	現状値以上	39	×	現状値以上
3-4-2	特定健康診査等の充実	30歳代の被保険者の健康診査受診率	%	9.7	18	12.1	×	20
3-4-3	生活習慣病重症化予防の対策	人工透析の新規移行者数	人	35	現状値以下	52	×	現状値以下
3-4-4	ジェネリック医薬品の利用促進	ジェネリック医薬品の数量シェア	%	71.9	80	80.1	○	80
3-4-5	後期高齢者医療制度の充実	後期高齢者健康診査の受診者数	人	13,125	15,400	15,190 (R3)	×	16,900

節の基本方針への取り組み状況

◆ **前年度の取り組み状況に対する振り返り**
 ○第三者行為求償案件の発見に資する取り組みとして、新たに埼玉県国保連合会が作成している「第三者行為求償対象候補一覧表」を活用し、「第三者データ」と突合することにより第三者行為該当レセプトを抽出し対象者に届出励行の通知を行うなどさらなる強化を図った。
 ○特定健康診査の受診率向上のため、受診勧奨ハガキ及び通知、早期受診キャンペーンの実施等に取り組んだ。
 ○医療費適正化のため、県の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に参加し、保健指導の参加者を増やす取組(参加勧奨ハガキの発送)を行った。ジェネリック医薬品の数量シェア向上のため医師会・薬剤師会・歯科医師会への協力依頼(ポスター、シールの発送)を行った。
 ○後期高齢者の健康保持・増進のため、健康診査を実施した。実施に際しては対象者に受診券を個別送付したほか、新聞やシルバー人材センターの機関紙にチラシの折り込みを行った。

◆ **前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析**
 ○第三者行為求償事務については、被保険者数の減少から総数も減少傾向にあることが要因と考えられる。
 ○特定健康診査受診率については、R4受診率の途中経過を分析すると、早期受診キャンペーンの効果により、当初は順調に推移していたものの、秋以降は下降状態に転じている。依然として、40歳代の受診率が低いので、引き続き、若年層に働きかける必要がある。
 ○人工透析の新規移行者数の増加は、被保険者の高齢化が一因と考えられる。
 ※ 特定健康診査及び後期高齢健康診査は令和4年度実績が確定していないため、前年度の実績で評価を行った。(確定は令和5年10月)

今後の方向性

◆「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容

- 国民健康保険の健全な運営のために医療費通知をはじめとした被保険者への周知等により健康への関心を深め適正な保険給付が行えるよう引き続き、努める。
- 特定健康診査等の受診率向上に向け、未受診者勧奨(ハガキ及び通知の発送、商工会議所へのポスター掲示協力依頼、自治会回覧等)に取り組む。
- 広域連合と連携を図りながら、保健事業と介護予防事業の一体的実施事業に取り組んでいく。国民健康保険課では、企画担当保健師が全体の企画・調整を行うほか、ハイリスクアプローチとしてイベントの実施と訪問を行う予定である。

◆前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容

- 保険給付の適正化のため届出のない第三書求償案件の発見に資する取り組みを継続して行っていく。
- 特定健康診査等の受診率については、年代別のメッセージを勧奨通知に加えるなど、未受診者を階層化して受診勧奨を実施する。
- 人工透析の新規移行者数については、県の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に継続して参加し、リスクのある被保険者への受診勧奨、かかりつけ医の推薦に基づく保健指導等を実施していく。

SDGsへの貢献

1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤を作ろう	

評価日	R5.7.13	記入者職氏名	健康推進部次長 大出 久美
-----	---------	--------	---------------

第5節	スポーツ推進							
関係所属	スポーツ振興課							
施策に対する市民満足度・要望度 (「令和4年度所沢市市民意識調査」の結果)※回答数:2,571人			満足、まあまあ満足と回答した人数	満足度	力を入れてほしいと回答した人数	要望度		
「スポーツ推進」 所沢市はスポーツ活動やスポーツに触れる機会が充実している			535	20.8%	272	10.6%		
評価指標の達成状況	指標名		単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
	スポーツを楽しんでいる市民の割合		%	47.6	50	45.4	×	51.0
事業目標の達成状況								
基本方針		事業目標	単位	(H29)現状値	R4年度目標値	R4年度実績	達成状況	R6年度目標値
3-5-1	スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進	週1回以上スポーツを実施する成人の割合	%	38.2	48	39.0	×	52
3-5-2	競技会場の確保や交流機会の充実	ところざわほっとメールにおける「スポーツ情報」の利用登録者数	人	4,554	6,000	6,946	○	6,600
3-5-3	スポーツ活動の支援と環境整備	スポーツ・レクリエーション施設利用者数	人	858,492	861,000	719,844	×	862,000
3-5-4	スポーツに触れる機会の充実	市ホームページ等のスポーツ情報発信数	回	213	285	296	○	315
節の基本方針への取り組み状況								
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○感染防止策を取りながら、3年ぶりに市民プールを開場、所沢シティマラソン大会を開催した。</p> <p>○市民フェスティバルにて、ゆかりのアスリート認定式を実施し、ゆかりのアスリートによる報告などを行った。開催告知、参加者募集、開催の様子等の情報発信を積極的に行った。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○「週1回以上スポーツを実施する成人の割合(スポーツ実施率)」は、より実態に即した結果が得られるように調査方法の見直しを行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用者数は、徐々に回復してきているものの、各種大会の中止や利用人数の制限等により目標を下回った。</p>								
今後の方向性								
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○親子3世代モルック体験会、親子スポーツフェア、ところんウォークなど市民が気軽にスポーツに触れることができる事業の充実を図る。</p> <p>○各種スポーツ大会や健康体操教室の開催を通じ、ライフステージに応じたスポーツ活動を楽しめる環境づくりに務める。</p> <p>◆ 前年度の評価指標・事業目標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○誰もが気軽に楽しめるユニバーサルスポーツ等の体験会や、健康体操教室を開催し、スポーツを楽しむ環境づくりを推進する。</p> <p>○ゆかりのアスリートに関する情報発信、各種大会の観戦機会の情報発信を積極的に行うことで、スポーツに親しむきっかけづくりを行う。</p>								
SDGsへの貢献								
	1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう						
	2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを						
レ	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任						
	4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を						
	5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう						
	6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう						
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に						
	8 働きがいも経済成長も	17 パートナーシップで目標を達成しよう						
	9 産業と技術革新の基盤を作ろう							
評価日	R5.7.14	記入者職氏名	教育総務部次長 池田 淳					